



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月8日

上場会社名 オリジン電気株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6513 URL <https://www.origin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 妹尾 一宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 赤松 敦 TEL 048-755-9242  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	29,852	22.1	2,491	91.8	2,691	89.6	1,721	249.9
2018年3月期第3四半期	24,439	9.0	1,298	99.4	1,419	66.6	491	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 896百万円 (△48.8%) 2018年3月期第3四半期 1,749百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	259.45	—
2018年3月期第3四半期	73.94	—

※当社は2017年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	45,175	25,621	51.1
2018年3月期	45,374	25,322	49.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 23,095百万円 2018年3月期 22,625百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	3.50	—	25.00	—
2019年3月期	—	20.00	—		
2019年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※1. 2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 17円50銭 特別配当 7円50銭

※2. 当社は2017年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2018年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	20.6	3,000	64.6	3,000	57.2	2,000	130.3	301.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	6,699,986株	2018年3月期	6,699,986株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	66,503株	2018年3月期	67,151株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	6,633,324株	2018年3月期3Q	6,651,510株

※ 1. 当社は2017年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 2. 期末自己株式数及び当第3四半期連結累計期間における期中平均株式数の算定にあたり控除する自己株式数には、株式給付信託（BBT）にかかる信託口が保有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内では企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続き、全体的には緩やかな回復基調が続きました。一方で、米中貿易摩擦の長期化による世界経済の減速が懸念されるなど、景気の先行き不透明感が一層強まりつつあります。

このような中、当第3四半期連結累計期間の売上高は298億5千2百万円（前年同四半期比22.1%増）となりました。

利益面におきましては、営業利益24億9千1百万円（前年同四半期比91.8%増）、経常利益26億9千1百万円（前年同四半期比89.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億2千1百万円（前年同四半期比249.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## [エレクトロニクス事業]

エレクトロニクス事業の売上高は前年同四半期比14.5%減の60億2千3百万円（総売上高の20.2%）となりました。

ランプ・光源用や医療用などの高圧電源は、堅調に推移しましたが、通信設備用電源は引き続き投資抑制が影響し、全体として売上減となりました。

## [メカトロニクス事業]

メカトロニクス事業の売上高は69億7千2百万円（総売上高の23.4%）となりました。

前期受注済み案件のMDB(Mobile Display Bonder)が大きく寄与し、前年同四半期比大幅増となりました。また真空ソルダリングシステム(VSM)、車載・産業用DB(Display Bonder)も寄与しました。

## [ケミトロニクス事業]

ケミトロニクス事業の売上高は前年同四半期比概ね横ばいの87億円（総売上高の29.1%）となりました。

主力の自動車分野や化粧品分野が堅調に推移しました。

## [コンポーネント事業]

コンポーネント事業の売上高は前年同四半期比2.5%増の81億5千5百万円（総売上高の27.3%）となりました。

主力である事務機器向けは順調に伸長したものの、当社を取り巻く半導体設備関係向けは第3四半期より市場環境が悪化したため、前年同四半期比微増にとどまりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は451億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億9千9百万円減少しました。

これは主に現金及び預金が12億6千万円、電子記録債権が4億6千6百万円、土地が3億4千6百万円増加しましたが、投資有価証券が10億2百万円、受取手形及び売掛金が8億4百万円、仕掛品が4億4千8百万円減少したことなどによるものであります。

負債は195億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億9千9百万円減少しました。これは主に長期借入金が16億1千5百万円、電子記録債務が3億2千4百万円増加しましたが、短期借入金が20億円、賞与引当金が3億1千6百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は256億2千1百万円と前連結会計年度末に比べて2億9千9百万円増加しました。これはその他有価証券評価差額金が7億1百万円、為替換算調整勘定が2億4千9百万円、非支配株主持分が1億6千9百万円減少しましたが、利益剰余金が14億1千9百万円増加したことなどによるものであります。なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.2ポイント増加し、51.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の連結業績予想につきましては、2018年5月11日に発表した2019年3月期の連結業績予想の数値を変更しておりません。

なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,795	8,055
受取手形及び売掛金	9,695	8,890
電子記録債権	1,360	1,827
商品及び製品	1,742	1,727
仕掛品	4,393	3,944
原材料及び貯蔵品	1,860	1,718
その他	1,150	1,183
貸倒引当金	△38	△54
流動資産合計	26,960	27,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,890	4,602
機械装置及び運搬具(純額)	1,008	1,198
土地	4,298	4,645
その他(純額)	930	775
有形固定資産合計	11,128	11,222
無形固定資産	670	683
投資その他の資産		
投資有価証券	5,663	4,660
繰延税金資産	173	341
その他	917	1,112
貸倒引当金	△138	△136
投資その他の資産合計	6,615	5,977
固定資産合計	18,414	17,883
資産合計	45,374	45,175

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,432	3,186
電子記録債務	4,539	4,864
短期借入金	4,000	2,000
1年内返済予定の長期借入金	915	811
未払法人税等	168	377
賞与引当金	591	275
役員賞与引当金	28	-
その他	2,192	2,234
流動負債合計	15,869	13,748
固定負債		
長期借入金	164	1,780
役員株式給付引当金	-	7
退職給付に係る負債	3,911	3,886
環境対策引当金	39	39
資産除去債務	29	29
その他	38	62
固定負債合計	4,183	5,805
負債合計	20,052	19,553
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,103	6,103
資本剰余金	3,454	3,454
利益剰余金	10,214	11,633
自己株式	△146	△145
株主資本合計	19,625	21,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,228	1,527
為替換算調整勘定	771	521
その他の包括利益累計額合計	3,000	2,049
非支配株主持分	2,696	2,526
純資産合計	25,322	25,621
負債純資産合計	45,374	45,175

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	24,439	29,852
売上原価	17,930	21,975
売上総利益	6,509	7,876
販売費及び一般管理費	5,210	5,385
営業利益	1,298	2,491
営業外収益		
受取利息	63	87
受取配当金	100	104
為替差益	-	45
持分法による投資利益	45	6
その他	110	124
営業外収益合計	319	368
営業外費用		
支払利息	23	29
為替差損	10	-
その他	164	139
営業外費用合計	198	168
経常利益	1,419	2,691
特別利益		
固定資産売却益	1	13
投資有価証券売却益	106	-
特別利益合計	107	13
特別損失		
固定資産売却損	2	-
固定資産除却損	37	9
減損損失	267	-
製品補償費	94	-
特別損失合計	401	9
税金等調整前四半期純利益	1,125	2,695
法人税、住民税及び事業税	366	614
法人税等調整額	34	137
法人税等合計	400	752
四半期純利益	724	1,943
非支配株主に帰属する四半期純利益	232	222
親会社株主に帰属する四半期純利益	491	1,721

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）
四半期純利益	724	1,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	923	△698
為替換算調整勘定	98	△345
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△2
その他の包括利益合計	1,025	△1,046
四半期包括利益	1,749	896
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,480	770
非支配株主に係る四半期包括利益	268	125



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。